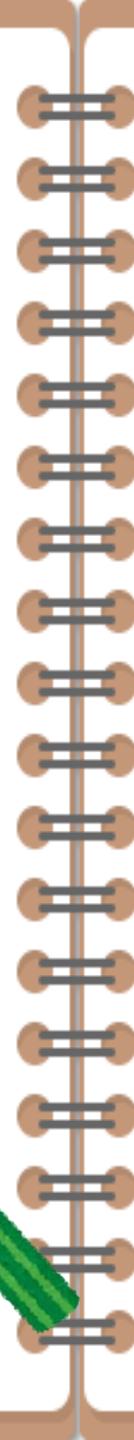
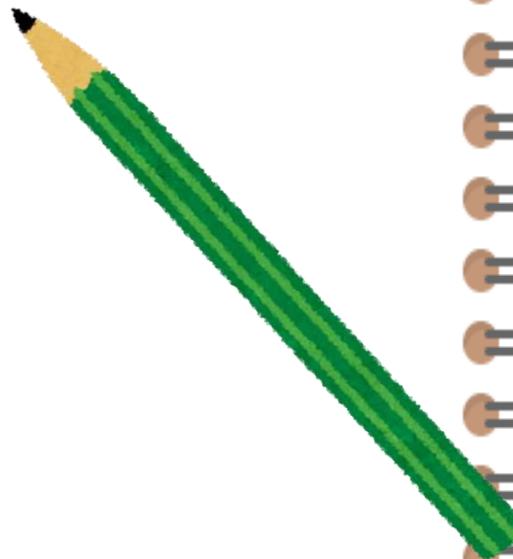


# プロジェクト科目 1年間の記録



メンバー初顔合わせ!  
学部も学年も違うから、ちょっと緊張するなあ…



リーダー、サブリーダー、会計など…  
クラス内で話しあって役割を決定。  
よし!頑張ろう～～!

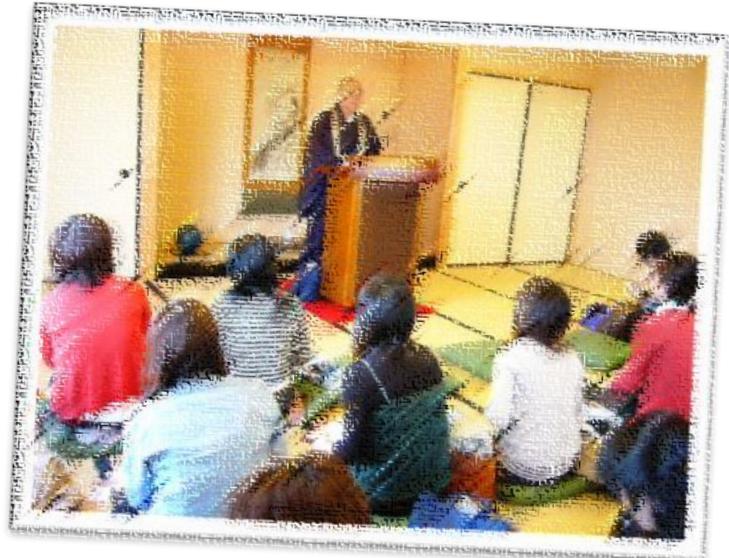
ゲストスピーカーの方を招いて…



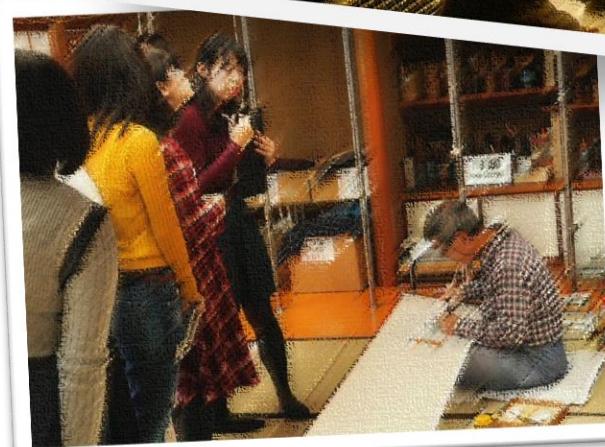
学外の先生から業界の話を聞いた。  
大学の講義では知りえなかった実情も…!?



授業でゲストスピーカーの方を招いてお話をうかがった。  
少しづつ自分たちがやるべき事がみえてきたかも…



## 学外でのフィールドワーク(調査)



資料を集めたり、聞き取り調査を行ったり…  
リサーチが大切!

文献や資料を読むだけじゃわからないことも、  
実際に見たり聞いたりすることでよくわかった。

アポイントの取り方 確認!

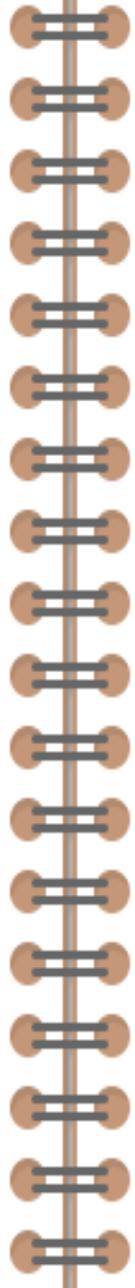
# 分析 ⇒ 課題設定 ⇒ 企画を考えよう!



ブレインストーミングで課題抽出やアイデア出し。



調査の結果をもとに、プロジェクトとして何をやるのか、みんなで考え、話し合いを繰り返した。



しっかり分析して課題設定!

授業時間外も使ってミーティング☆

## memo

企画書に必要なこと!

- ・企画の名称
- ・経緯
- ・目的
- ・内容
- ・予算
- ・必要備品
- ・想定される成果 etc…

春学期どこまで?

広報はどうする?

行動計画をもとにタスク表作成。  
メンバーでタスクを分担して進めよう!

A班 担当:△△ △△

××さんにアポイント ←6/18まで!

説明用資料作成

訪問

B班 担当:○○ ○○

使用する設備をC班に確認

会場の候補作成

予算確認

会場下見 ← 6/12予定



企画は1日にして成らず!

タスク表をもとに個別・班別での作業を進めていく。  
時には、調査や考察のやり直しが必要なことも…('へ')



準備はOK!  
他の班の進捗はどうかな…?

# 企画の実施

(課題解決のための活動)



## 振り返りミーティング

みんなで自分たちの活動を振り返った。



改めて振り返ってみると「これはもっと工夫できたな」とか  
「こんな風にやればうまくできたのでは…?」とか  
いろんな意見が出てきた。

課題の解決度は… **80%**くらいかな?

反省点は次の活動にきちんと活かしていきたい!



↗  
プロジェクト・リテラシー  
講習会 の様子  
↓



活動の成果まとめる!

- ↓  
 画像使用許可を確認  
 ポスターレイアウト

6月×日  
プロジェクト・リテラシー  
講習会に参加

□ ポスターセッションの  
練習  
ラーニング・コモンズ予約?

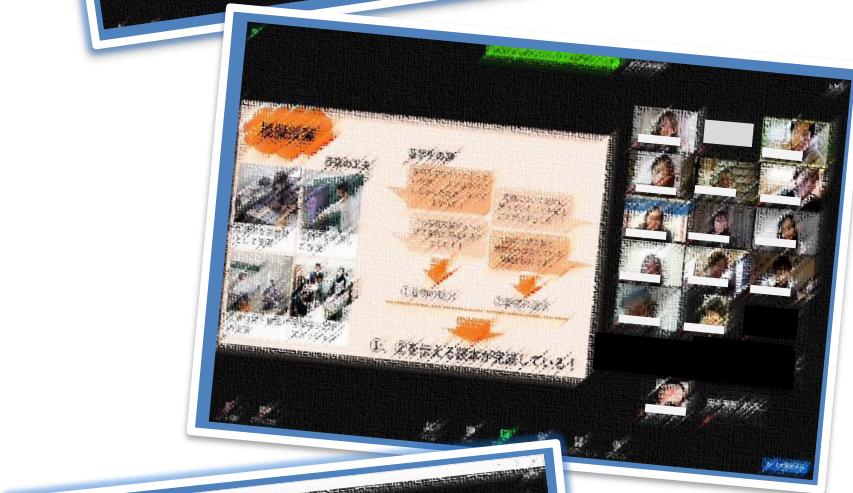
成果報告会 準備!

# 成果報告会(7月・1月)

春学期末は中間報告、秋学期末は最終報告。\*春・秋連結科目の場合  
一般の方もたくさん来られるのでちょっと緊張…



ポスターセッションで  
伝えるのってなかなか  
難しい…x\_x;  
でも、多くの人に  
活動の成果を  
聞いてもらえて  
嬉しい!!!



2022年度は  
オンラインにて開催  
(Zoom)  
2023年春学期も  
オンラインにて開催  
(Zoom)

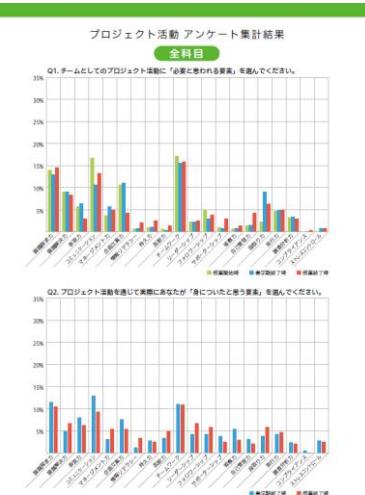
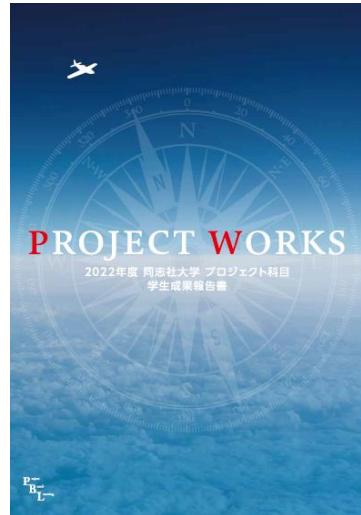
# 履修生懇談会(春学期末・秋学期末)

各クラスの代表が集まって報告しあった。  
問題解決のいいヒントをもらった気がする…♪



# 学生成果報告書

全クラスの活動の成果を1冊の報告書にまとめて学内外へ広く発信。



## 留学生による「京の台所」講習会 マイクロツーリズム読本

### 1 目的・概要

京の台所では観光客不足や販路の逼迫、それに伴う販売実績の悪化の傾向など、様々な課題により伝統の食の魅力が見失いつつあります。京の台所の特色である地域の特産品や文化を味わうことで、京の台所の歴史や京の台所の魅力をもっと多くの人に届けたいという想いから企画されました。また、京の台所の魅力をより多くの方に伝えたいために、マイクロツーリズム読本を作成しました。これにより、他の観光客も「京の台所」を楽しむきっかけとなることを目めざしています。

### Annual Schedule

年	月	日付	内容
2022年	4月	16日	パワースポットの決定
	5月	25日	スピーカーの募集
	6月	1日	プロジェクトの目的決め
	7月	日本全国の旅館を回る	
	8月	あさみ屋でプロジェクトを開始、教材充実化ニアヒラ	
	9月	「おもてなし」と「おもてなし」の説明	
	10月	販売実験、伊勢やまき商店開業	
	11月	販売実験、徳島御幸手前山の京料理店	
	12月	販売実験、被服屋ヨウセイ京料理店・同古天	
	2023年	1月	販売実験した学生主催の発表

### 2 成果達成度

本プロジェクトの目的は「京の台所の魅力を多くの人に届けてもらい、京の台所の魅力を広めること」でした。これを達成して、10月に行なった販売実験では、伊勢やまき商店では、販売率は99%以上となりました。川の仲良の販売率は「はい」と回答してたり、もちろんがんこなことに対して販売率を高めました。販売率を上げたことで、販売額も上昇しました。11月に行なった徳島御幸手前山の京料理店では、販売率は95%以上となりました。一方で、被服屋ヨウセイ京料理店の内での販売率については、一回の販売実験で販売率を100%にするのが難しかった。何よりも、販売率を上げるために、販売の仕方を工夫したり、販売場所を変更したりなどして販売率をあげました。しかし、川の仲良の販売アシスタントには参加した留学生たちがとても優秀で、販売率を上げました。販売率を上げると同時に、販売額をあげるために、販売の仕方を工夫したり、販売場所を変更したりなどして販売率をあげました。一方で、10月に行なった販売実験では、伊勢やまき商店では、販売率は99%以上となりました。川の仲良の販売アシスタントには参加した留学生たちがとても優秀で、販売率をあげました。しかし、川の仲良の販売アシスタントには参加した留学生たちがとても優秀で、販売率をあげました。一方で、10月に行なった販売実験では、伊勢やまき商店では、販売率は99%以上となりました。川の仲良の販売アシスタントには参加した留学生たちがとても優秀で、販売率をあげました。しかし、川の仲良の販売アシスタントには参加した留学生たちがとても優秀で、販売率をあげました。

24

第三者に伝わるよう  
工夫する！！